

マタイの福音書
聖書講解シリーズ
17) 離婚について
マタイ 5:31-32
2019.6.2 HKJCF

1

概観

律法学者によって悪用されたモーセの律法を訂正するために、イエス様は神の御心をはっきりと教えられた。結婚と和解の重要性と合わせて学びたい。

アウトライン

- | | |
|----------------|-----|
| 1. 離婚状について | V31 |
| 2. 不貞以外の理由について | V32 |
| 3. 結婚と和解について | |

2

1. 離婚状について V31

- 1) 律法と恵み：世界と教会の現状；神の御心と現実の世界（マタイ 19:3-9）。
- 2) 内心の動機：基準と容認（申命記 24:1-4）；安易な離婚に対する防止；感謝する心と恵みに対する理解→相手を受容できない心。
- 3) 律法主義の危険性：新しいルールの作成→離婚の根拠、再婚の可能性など。
- 4) 男性の優位性：男性有利の解釈；2つの宗派（シャンマイ派とヒレル派）＜聖書信仰。

3

2. 不貞以外の理由について V32

- 1) 不貞の定義：(πορνεία, *porneia*) = 結婚以外の性的関係；婚約中の不誠実な行為；近親相姦など→ひとりの人に対する忠誠心。
- 2) なぜ姦淫なのか？：正当な理由がなく離別する＝永遠の忠誠を誓った結婚関係が破ったまま新しい結婚関係に入る。
- 3) 不貞以外の理由：聖書の立場（マルコ 10:11-12；ルカ 16:18）；マタイの違いと例外の考え方：性格の不一致、家庭内暴力など。

4

3. 結婚と和解について

- 1) 結婚の制定：永遠の関係（エペソ 5:31-32；マルコ 10:9）；結婚の絆を育てる努力。
- 2) 権利→恵み：離婚の容認≠承認→人間を理解しておられる神の愛；神の形の尊重。
- 3) 赦しと和解：成長の可能性と理解の前進がカギ；脱出の道、最後の手段の考え方。
- 4) 教会の働き：赦されない罪ではない；神の愛による心の回復と癒し→人間の限界と神様の気持ちを理解するきっかけ。

5

適用

①人間の弱さを理解するように：

自分の力で神様の良い基準に達成できないことと、神様に守られていることに目が開かれるように。

②神様の憐れむ心を持つように：

関係者が心の傷に取り組み、安心して神の癒しを体験できるように教会の環境を整えていこう。

6